**ハンドマイク街頭演説原稿例　アベ政治を名実ともに終わりへ**

二〇二〇年九月一六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日は、この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、菅義偉（すが・よしひで）元官房長官が内閣総理大臣に選出され、第一次菅政権が誕生しました。総裁選で菅首相は、安倍政権の「継承」をうたい、めざすべき政治の在り方を「自助・共助・公助」としました。まさに国民に自己責任を押しつけ、政治や行政の役割を後退させてきた、これまでのアベ政治をそのまま突き進もうとしています。

　しかし、多くの国民がコロナ禍で苦しむなか、新しい政権に私たちがのぞむことは何でしょうか。やはり、国政を私物化し、憲法とくらしを破壊してきた、アベ政治の根本的な転換ではないでしょうか。早ければこの秋にも解散かといわれるなか、日本共産党は、野党が共通の「政権構想」を掲げ、本気で政権交代を実現する選挙となるよう全力をあげます。みなさん、次の総選挙で自民党・公明党を少数に追い込み、「アベ政治」を名実ともに終わらせようではありませんか。国民の願いに寄り添い、くらしや命を守る新しい政治をともに実現するために、日本共産党への大きなご支援をぜひともよろしくお願いいたします。

　では、みなさん、安倍政権によって歪められた政治をどう転換していくのか。日本共産党は、以下の３つの方向で政治を大きく切り替えていきます。

　第一に、憲法にもとづき、立憲主義、民主主義、平和主義を回復していきます。市民と野党の共闘の出発点となった、集団的自衛権の行使を容認した閣議決定をただちに撤回し、安保法制は廃止します。憲法にも国際法にも反する、自衛隊の敵基地攻撃能力の保持は絶対認められません。第二に、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治に切り替えていきます。とりわけ、非正規雇用を増やしてきた労働法制の規制緩和や大企業優遇の経済政策を転換し、コロナ禍で苦しむ国民のくらしや営業を守り、良くしていきます。大企業や資産家への課税を強化し、消費税は５％に引き下げます。第三に、多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治をつくっていきます。政治の分野はもちろん、あらゆる面でジェンダー平等を貫き、男性も女性も自分らしく輝ける社会を築くために力を尽くします。

　みなさん、菅新政権が誕生しましたが、このままでは「安倍首相のいない安倍政権」が続いていくだけではないでしょうか。いまこそ、主権者・国民の力で安倍政権が進めてきたおかしな政治を大本から切り替えていこうではありませんか。日本共産党はコロナ禍から国民を守るためにさらに力を尽くすとともに、この間発展してきた、市民と野党の共闘をさらに前進させ、来る総選挙では野党による政権交代を本気でめざしていきます。野党共闘の勝利と日本共産党躍進へ、みなさまの大きなご支援を重ねてお願いいたします。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）